

⑪ おおせとオヤジ夜究教室の活動

オヤジの力発揮！食育の実践

【食育支援の取り組み】

おおせとオヤジ夜究教室は男性を中心にした生涯学習の団体であり基本的には男の自立を目指し料理教室を中心とした活動を展開しています。

料理教室の講師は学校給食の栄養士、地域内の婦人のリーダー、料理店の料理長など多くの方の指導を受けながら行っています。また、会員の年齢構成からすれば、生活習慣病が気になる場所であり、予防のため栄養士を招いての生活習慣病予防料理にも積極的に取り組んでいます。料理のメニューは和食から洋食まで多種に及び今では料理のレシピ集が発行できる程度までになっています。

食育推進計画にもあるように、特にこだわりとして、食の安全を求め、地元で採れた食材や会員が生産した食材を主として料理を行うことを基本としており、地産地消（身土不二）の取組と合わせて活動を行っています。

また、地域との連携を深めボランティア活動の一環として市内小学校の児童、老人福祉施設の入所者の方々と会員が栽培したソバを使ってのソバ打ち交流会も行っております。この活動を展開する中で古くから伝承されてきている料理について先輩からの教訓を受けることができます。



食育活動の一環として地元小学校の子どもたちに対して自分たちで育てることで食の大切さを学ばせるために、会員による体験農業の実践にも取り組んでいます。また自前で作成した石窯を使い、ピザ焼きやパン焼きを自分たちで一から作るという普段家庭では出来ない食育体験も行っており、小中学校の児童生徒や地元婦人会を中心にした利用がなされています。



今後は地域での食育推進のため、小中学校の児童生徒や保護者ほか、他の組織などと連携を密にし、農作物の生産や料理を体験できる機会を多く作り食育推進活動を展開していきたいと考えています。